

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-87479  
(P2002-87479A)

(43) 公開日 平成14年3月27日(2002.3.27)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テームコード(参考)
B 6 5 D 83/00		A 4 5 D 34/00	5 1 0 Z 3 E 0 1 4
A 4 5 D 34/00	5 1 0	B 6 5 D 83/00	J

審査請求 有 請求項の数27 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2001-217048(P2001-217048)  
(22) 出願日 平成13年7月17日(2001.7.17)  
(31) 優先権主張番号 0 0 0 9 3 5 0  
(32) 優先日 平成12年7月17日(2000.7.17)  
(33) 優先権主張国 フランス (F R)

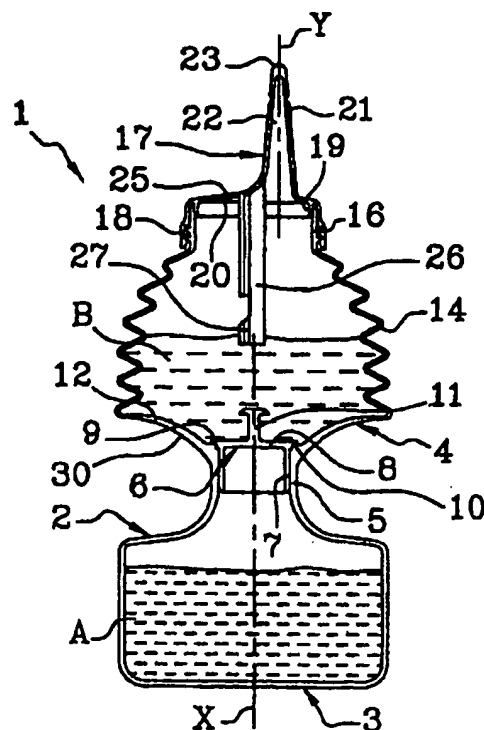
(71) 出願人 391023932  
ロレアル  
LOREAL  
フランス国パリ, リュ ロワイヤル 14  
(72) 発明者 アルピセッティ ニコラ  
フランス 92110 クリッシ リュー デ  
ユ ランディ 17  
(74) 代理人 100059959  
弁理士 中村 裕 (外9名)  
Fターム(参考) 3E014 PA01 PB03 PC04 PC08 PD22  
PE25

(54) 【発明の名称】 物質の包装小出し器具

(57) 【要約】

【課題】 物質の塗布中における快適さを向上させると共に塗布を容易にする包装塗布器具を提供する。

【解決手段】 本発明は、圧縮可能な部分(14)を備えた入れ物と、ディスペンサー端部品(17)とから成る包装塗布器具に関する。包装塗布器具は、圧縮可能な部分(14)の互いに反対側の端部にそれぞれ位置した第1の支承面(25)及び第2の支承面(30)を有し、それによりユーザが入れ物の軸線(X)に沿って圧力を加えて支承面(25, 30)を互いに近づけて圧縮可能な部分を圧縮できるようになっている。第1の支承面は、端部品(17)に又はその付近に設けられ、ユーザが、器具を片手で持つと共にこの手を物質が塗布されるべき表面に接触させた状態で物質を小出しできるようになっている。



BEST AVAILABLE COPY

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 圧縮可能な部分を備えた入れ物と、ディスペンサー端部品 (17;43;141) とからなる包装塗布器具であって、包装塗布器具は、圧縮可能な部分 (14) の互いに反対側の端部にそれぞれ位置した第1の支承面 (25;73;145) 及び第2の支承面 (30;56;98;107;130) を有し、それによりユーザが入れ物の軸線 (X) に沿って圧力を加え、前記支承面を互いに近づけて圧縮可能な部分を圧縮できるようになっており、第1の支承面は、端部品 (17;43;141) に又はその近くに設けられ、ユーザが、器具を片手で持つと共にこの手を物質が塗布されるべき表面 (C) に接触させた状態で物質を小出しできるようにになっていることを特徴とする器具。

【請求項2】 圧縮可能な部分は、ベロー (14) から成ることを特徴とする請求項1記載の器具。

【請求項3】 第2の支承面は、ベロー (14) が連結されている横方向壁 (12;55;97;106;126) によって構成されていることを特徴とする請求項2記載の器具。

【請求項4】 第2の支承面は、使用の際、中指及び人差し指を置くことができる環状ウェストを構成する入れ物の絞り部 (5;49;123) の周りにぐるりと形成されていることを特徴とする請求項1、2又は3記載の器具。

【請求項5】 2つのコンパートメントを形成するように配置された着脱自在な栓 (6;46) を有し、各コンパートメントはそれぞれ1種類の成分 (A;B) を収容していることを特徴とする請求項1～4のうちのいずれかに記載の器具。

【請求項6】 栓を最初の使用時に動かして成分を混ぜ合わせることができるようにする作動手段を有していることを特徴とする請求項5記載の器具。

【請求項7】 作動手段は、ディスペンサー端部品に固定されたロッド (26;71) から成ることを特徴とする請求項6記載の器具。

【請求項8】 ロッド (71) は、栓にスラストを加えるよう配置されており、栓は、絞り部内に配置されていて、ロッドによって加えられたスラストにより、絞り部から突き出されるようになっていることを特徴とする請求項4又は7記載の器具。

【請求項9】 ロッドは、ロッドを栓に近づけたときに栓に設けられた突起 (11) にスナップ嵌合するのに適した結合手段 (27) を備えており、栓は、ロッドによって加えられた牽引力によって、入れ物の絞り部から出されるように入れ物の絞り部内に配置されていることを特徴とする請求項4又は7記載の器具。

【請求項10】 入れ物は、2つの容器 (81;82) を互いに組み立てることによって形成され、一方の容器は、スリーブ (88) を有し、他方の容器は、前記スリーブに嵌まるのに適したネック (83) を有し、栓 (95) は、2つの容器を互いに組み立てると、飛び出るようにネック内に配置されていることを特徴とする請求項5記載の器

具。

【請求項11】 栓は、圧縮可能な部分が変形されていることにより入れ物の内部に生じる圧力の増加によって飛び出るよう絞り部 (5) 内に配置されていることを特徴とする請求項4又は5記載の器具。

【請求項12】 入れ物は、2つの容器 (100;101) を互いに組み立てて互いに回すことができるようにすることによって構成され、器具は、容器のうち一方を他方に対して回すことにより、栓 (103) を動かし、容器を互いに連通させるように構成されていることを特徴とする請求項5記載の器具。

【請求項13】 端部品は、折取り部分 (23) を有していることを特徴とする請求項1～12のうちのいずれかに記載の器具。

【請求項14】 端部品は、中心からずれている出口チャンネル (22;65) を有し、第1の支承面 (25;73) は、入れ物の軸線 (X) 上に位置していることを特徴とする請求項1～13のうちのいずれかに記載の器具。

【請求項15】 出口チャンネル (22) は、入れ物の軸線 (X) に実質的に平行な方向 (Y) へ外部に開口していることを特徴とする請求項14記載の器具。

【請求項16】 出口チャンネル (65) は、入れ物の軸線 (X) に実質的に垂直な方向 (Z) へ外部に開口していることを特徴とする請求項14記載の器具。

【請求項17】 圧縮可能な部分 (14) の圧縮ストロークを小出しされるべき物質の量に応じて変えることができるようにする調節部材 (150) を有していることを特徴とする請求項1～16のうちのいずれかに記載の器具。

【請求項18】 ディスペンサー端部品 (140) は、調節部材 (150) によって支持されていることを特徴とする請求項17記載の器具。

【請求項19】 ディスペンサー端部品 (140) は、調節部材 (150) にヒンジ止めされ、調節部材は、端部品が調節部材に対して第1の位置 (図11) にあるときに端部品の出口チャンネルを覆い隠すことができるようにする周囲壁 (173) を有し、端部品は、ユーザが第1の支承面 (175) を押すと、出口チャンネルが、周囲壁 (173) によって覆い隠されることがない第2の位置 (図12) を取ることを特徴とする請求項18記載の器具。

【請求項20】 調節部材 (150) は、端部品のハウジング (141) に嵌まり込む環状リップ (172) によって包囲された出口オリフィス (171) を有していることを特徴とする請求項19記載の器具。

【請求項21】 調節部材 (150) は、入れ物のネックに調節可能に固定されていることを特徴とする請求項17～20のうちのいずれかに記載の器具。

【請求項22】 端部品 (141) は、複数の出口チャンネル (142) を有していることを特徴とする請求項1～1

8のうちいずれかに記載の器具。

【請求項23】 端部品は、第1の支承面を構成し、入れ物の軸線(X)上に位置している壁(146)を有していることを特徴とする請求項22記載の器具。

【請求項24】 ディスペンサー端部品は、下方に向いていることを特徴とする請求項1〜23のうちいずれかに記載の器具の用途。

【請求項25】 圧力が親指で第1の支承面に、中指及び人差し指で第2の支承面にそれぞれ加えられることを特徴とする請求項1〜23のうちいずれかに記載の器具の用途。

【請求項26】 中指及び人差し指は、入れ物の絞り部の各側に置かれることを特徴とする請求項25記載の用途。

【請求項27】 物質を髪の毛及び(又は)頭皮に塗布する請求項1〜23のうちいずれかに記載の器具の用途。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、化粧品及び(又は)ヘアケア製品を包装して塗布する器具に関し、特に、物質を髪の毛及び(又は)頭皮に塗布する器具に関するが、これには限られない。

##### 【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】2種類の物質を別々に包装し、これらの混合物を小出しする多くの器具が知られている。かかる公知の器具は、圧縮可能な部分を備えた入れ物と、入れ物の軸線上に位置して外部に開口した出口チャネルを備える小出し端部品とを有している。現在の技術動向は、コスト上の理由により、最初の使用時に折り取り可能な折り取り部分を備えた端部品を用いることにある。本出願人は、端部品を頭皮に接触させた状態で物質を毛根に塗布することは、不快感を生じさせる場合のあることに気づいた。というのは、端部品は、折り取り部分を除いた後、尖った縁を呈する場合があり、この縁は、頭皮をひっかき、あるいは髪の毛にからむことがあるからである。さらに、ユーザは、端部品により頭皮に加えられる圧力を正確に制御したり、所定の経路、例えば髪の毛の分け目をたどることが比較的困難である。本発明の目的は、物質の塗布の際における快適さを向上させると共に(或いは)所定の経路に沿って物質の塗布を容易に行うことができる新規な包装塗布器具を提供することにある。

##### 【0003】

【課題を解決するための手段】本発明の器具は、従来通り、圧縮可能な部分を備えた入れ物と、ディスペンサー端部品とからなる包装塗布器具に関し、本発明は、包装塗布器具が、圧縮可能な部分の互いに反対側の端部にそれぞれ位置した第1の支承面及び第2の支承面を有し、それによりユーザが入れ物の軸線に沿って圧力を加え、

支承面を互いに近づけて圧縮可能な部分を圧縮できるようにしており、第1の支承面は、端部品に又はその近くに設けられ、ユーザが、器具を片手で持つと共にこの手を物質が塗布されるべき表面に接触させた状態で物質を小出しできるようになっていることを構成上の特徴とする。本発明により、ユーザは、手入れすべき表面への端部品の押付け力を手で容易に制御することができる。

【0004】ユーザはまた、端部品を手入れすべき表面に接触させないで、手を使うだけで手入れすべき表面に沿って端部品を正確に動かすことができる。かくして、折り取り式端部品を用いた場合の端部品と手入れすべき表面との接触を回避することが容易である。有利には、圧縮可能な部分は、ペローから成り、かくして、ユーザは、塗布中小出しされる物質の量を比較的容易かつ正確な仕方で測ることができる。この場合、第2の支承面は好ましくは、ペローが連結されている横方向壁によって構成される。第2の支承面を、使用の際、中指及び人差し指を置くことができる環状ウエストを構成する入れ物の絞り部の周りにぐるりと形成するのがよい。かかる絞り部は有利には、即座に混ぜ合わされる成分、例えば染髪料の2種類の薬剤の入った2つのコンパートメントを形成するよう着脱自在な栓を受け入れる。

【0005】一般に、2つの成分を用いる場合、栓はそれぞれが1種類の成分を収容した2つのコンパートメントを形成するように配置される。有利には、本発明の器具は、栓を最初の使用時に動かして成分を混ぜ合わせるようにする作動手段を有する。これら作動手段は、種々のやり方で具体化できる。特定の実施形態では、作動手段は、ディスペンサー端部品に固定されたロッドから成る。ロッドは、栓にスラストを加えるよう配置されたものであるのがよく、ロッドは、栓にスラストを加えるよう配置され、栓は、絞り部内に配置されていて、ロッドによって加えられたスラストにより、絞り部から突き出されるようになっている。

【0006】ロッドは、ロッドを栓に近づけたときに栓に設けられた突起にスナップ嵌合するのに適した結合手段を備えるのがよい。この場合、栓は、ロッドによって加えられた牽引力によって、入れ物の絞り部から出されるように入れ物の絞り部内に配置される。特定の実施形態では、入れ物は、2つの容器を互いに組み立てることによって形成され、一方の容器は、スリーブを有し、他方の容器は、スリーブに嵌まるのに適したネックを有し、栓は、2つの容器を互いに組み立てると、飛び出て成分を混ぜ合わせることができるようネック内に配置されている。また、2つの容器を互いに組み立てて互いに回すことができるようにすることによって入れ物を構成すると共に容器のうち一方を他方に対して回すことにより、栓を動かし、容器を互いに連通させるように器具を構成することも可能である。

【0007】また、栓を、圧縮可能な部分を変形させる

ことにより入れ物内部に生じる過剰の圧力によって飛び出るよう上述の絞り部内に配置してもよい。端部品は、中心からずれている出口チャンネルを有するのがよく、第1の支承面は、入れ物の軸線上に位置するのがよい。出口チャンネルは、入れ物の軸線に実質的に平行な方向へ外部に開口するのがよく、変形例として、入れ物の軸線に実質的に垂直な方向へ外部に開口してもよい。特定の実施形態では、圧縮可能な部分の圧縮ストロークを小出しされるべき物質の量に応じて変えることができるようにする調節部材を有する。ディスペンサー端部品は、有利には調節部材によって支持される。端部品は、複数の出口チャンネルを有するのがよい。この場合、有利には端部品は、入れ物の軸線上に位置した第1の支承面を構成する壁を有する。

【0008】ディスペンサー端部品は、調節部材にヒンジ止めされたものであるのがよく、調節部材は、端部品が調節部材に対して第1の位置にあるときに端部品の出口チャンネルを覆い隠すことができるようにする周囲壁を有するのがよく、端部品は、ユーザが第1の支承面を押すと、出口チャンネルが、周囲壁によって覆い隠されることがない第2の位置を取ることができ、第2の位置では、出口オリフィスは上記壁によって覆い隠されることはない。特定の実施形態では、調節部材は、端部品のハウジングに嵌まり込む環状リップによって包囲された出口オリフィスを有する。調節部材は好ましくは、入れ物のネックに調節可能に固定される。

【0009】本発明は又、上述の器具の用途を提供し、この器具は、ヘッドが下向きの位置で、即ち、端部品が下方に向けた状態で用いられる。この器具は、好ましくは、親指が第1の支承面を押し、人差し指及び中指が第2の支承面を押した状態で用いられる。上述のように、本発明の器具は有利には、物質を髪の毛及び（又は）頭皮に塗布するために用いられる。本発明の他の特徴及び利点は、添付の図面に示された非限定的な例としての実施形態についての以下の詳細な説明を読むと明らかになる。

#### 【0010】

【発明の実施の形態】図1～図3は、入れ物2を有する器具1を示しており、この入れ物2は、最初の使用時に混ぜ合わされる成分A、Bでそれぞれ満たされた下側容器3及び上側容器4を有している。入れ物2は、下側容器3と上側容器4が互いに連通する部分としての絞り部5を有している。栓6を、最初の使用前に成分A、Bを別々に包装することができるよう絞り部5内に漏れ止め状態で嵌めるのがよい。栓6は、器具1の軸線Xに垂直に延びる横方向壁8及び絞り部5の半径方向内面に漏れ止め状態で当接するような形状になった環状密封リップ7を有している。

【0011】リップ7は、横方向壁8の周縁部からわずかに引っ込められ、それによりカラー9を形成するよう

横方向壁8に連結されている。栓6は、横方向壁8の上方で軸線Xに沿って延びるキャッチ11を有している。栓6が定位置にあるとき、下側容器3と上側容器4は互いに連通することができない。上側容器4は、その底部に横方向壁12を有し、この横方向壁の周囲は、軸線Xに沿って圧縮可能なベロー14内に延びている。横方向壁12は、これが絞り部5とつながるところに、栓が定位置にあるときに栓6のカラー9が載る環状平坦部10を有している。ベロー14の頂部はネック16に連結され、このネックにはディスペンサー端部品17が装着されている。

【0012】図示の実施形態では、ネック16は、雄ねじを有し、端部品17は、ネック16と螺合するのに適した雌ねじを備える組立スカート18を有している。端部品17は、ネック16に密封作用をもたらす手段を更に有している。図示の実施形態では、これら密封手段は、ネック16の半径方向内面に漏れ止め状態で当接する環状密封リップ19によって構成されている。組立スカート18は、物質の出口チャンネル22を構成する円錐形部分21を備えた端部品の頂壁20に連結されており、この出口チャンネルは、軸線Xと平行であるが、これとは一致していない軸線Yを有している。円錐形部分21は、折取り端部分23で終端している。頂壁20は、円錐形部分21の最下部のところに、本発明において特徴的な第1の支承面25を構成しており、その機能については以下に具体的に説明する。軸線X上に位置したロッド26が、頂壁20の底面に連結されている。

【0013】このロッド26は、その底端部のところに、図2に示すようにベロー14が軸方向に圧縮されるとキャッチ11にスナップ動作で嵌まるのに適した弾性変形可能なタブ27を有している。ロッド26は、ベロー14がそれ自体の弾性及び上側容器4内の圧力の作用を受けてそれ自体が膨張すると、栓6を絞り部5から引き抜くことができ、それにより、図3に示すように成分A、Bが互いに混じり合うことができる。栓6は、混合物の小出しを邪魔しないようにロッド26に結合されたままであることは理解されよう。横方向壁12の外周面は、環状の第2の支承面30を構成している。

【0014】器具1を使うために、折取り部分23を取り除き、入れ物2を逆さまにする。親指が表面25に当たるようにした状態で、中指及び人差し指を、図4で分かるように、容器3、4相互間に形成された環状ウエスト又は胴部の絞り部5の周りに置く。折取り部分23を取り除いた後に物質を送り出すオリフィス31が、頭皮よりもほんのわずかな距離上に位置した状態に保つようにしながら、親指で頭Cの輪郭をたどるのがよい。円錐形部分21の高さは、ユーザが親指又は手の他の或部分を用いてオリフィス31を頭皮の上方に保持することができるように選択されている。物質を小出しするため、ユーザは図5に示すようにベロー14を軸方向に圧

縮する。

【0015】図6～図13は、種々の他の実施形態を示している。図6に示す器具40は、下側容器41、上側容器42、ディスペンサー端部品43及び絞り部49を有し、下側容器41と上側容器42は絞り部49を介して連通することができる。下側容器41は、その底部に、軸線X上に位置するスリーブ44を有し、キャップ45が、スリーブを漏れ止め状態に閉鎖する目的で螺着されるという点において、上述の下側容器3と異なっている。上述の栓6に代えて栓46が用いられており、その周囲は、底端部を備えた環状壁47を有し、この底端部は、リム48及び嵌め輪の形態をした中央部分57を備えており、その凹状の側部は、上側容器42に向いている。成分A、Bが別々に貯蔵されている間、栓46は絞り部49内に配置されている。

【0016】上側容器42は、上述のペローと同一のペロー14を有している。ペロー14は、本発明において特徴的な第2の支承面56を構成する横方向壁55を介して絞り部49に連結されている。環状平坦部50が、絞り部49と下側容器41との間の接合部のところに形成されている。リム48は、栓46が定位置にあるときに、この平坦部52当接する。端部品43は、ロッド26を備えていないという点において上述の端部品17と異なっている。栓46が既に定位置にある状態でスリーブ44を介して下側容器41の充填を行うことができる。栓46を押し出すために、上側容器42のペロー14を軸方向に圧縮し、過剰圧力が栓46を下側容器41内へ押し出すようにする。

【0017】図7に示す器具60は、これに用いられる参照符号70で示されたディスペンサー端部品の構成についてのみ、図6と関連して説明した器具と異なっている。端部品70は、上側容器42のネック16に螺着するのに適した組立スカート18を有している。組立スカート18の上方延長部として、軸線X上に位置していて、頂壁68内へ延びる円錐形部分61及び軸線Z上に位置する出口チャネル65を構成するダクト64が設けられ、軸線Zは、軸線Xと交差していて、これにほぼ垂直である。ダクト64は、着脱自在なキャップ66によって閉鎖されている。頂壁68は、本発明において特徴的な第1の支承面73を構成している。端部品70は、軸線X上に位置していて、ペロー14を圧縮すると栓46に圧力を加えてこれをその定位置から離脱させる長手方向に分割されたロッド71を有している。

【0018】図8に示す器具80は、互いに嵌まり合う2つの容器81、82を互いに組み立てることによって構成されている。下側容器81は、直径方向反対側に位置するスタッド84を備えたネック83を有している。ネック83はその頂端部に、軸線Xを中心として円筒形をなす表面86を有している。上側容器82は、上述の種類のディスペンサー端部品43及びペロー14を有

し、ペローの底端部は、管状壁85に連結され、この管状壁85の下方延長部として、横方向壁97が設けられ、この横方向壁97は、本発明において特徴的な第2の支承面98を構成している。上側容器82は、接合リング89が螺着された雄ねじ付きスリーブ88を含む底部を更に有している。

【0019】このリング89は、スリーブ88への螺着に適していて、内側スカート92に連結された雌ねじ付き組立スカート90を有し、この内側スカート92は、スリーブの内側に係合し、ネック83を受け入れるよう設計されている。スリーブ88の頂部は、横方向壁97に連結されている。内側スカート92には雌ねじが設けられ、この内側スカートは、その頂部に設けられていて、上述の表面86に漏れ止め状態で圧接する環状密封リップ93を有している。下側容器81を上側容器82に対して回すと、スタッド84は内側スカート92のねじ山と協働し、ネック83をスカート92内へ軸方向上方に動かす。栓95が、内側スカート92の頂端部に固定されており、この栓は、下側容器81を上側容器82に十分にねじ込むと、ネック83によって内側スカートの頂端部から突き出される。

【0020】図9に示す器具は、軸方向に動かさずに軸線Xの周りに互いに回すことができるのに適した下側容器100と上側容器101を有している。別個の部品によって構成された駆動要素102は、上側容器101と一緒に回る。この駆動要素は、フランス国特許第2,765,859号明細書に記載された駆動要素のうちのひとつと類似しており、利用にあたってはかかるフランス国特許明細書を参照されたい。上側容器101は、ペロー14を有し、その底端部は、本発明において特徴的な第2の支承面107を構成する横方向壁106に連結されている。

【0021】栓103が、下側容器のネック104に対して回することはできないが、軸線Xに沿って摺動できる状態で、下側容器のネック104内に設けられている。この栓103は、上側容器101を下側容器100に対して回すと、駆動要素102に設けられている傾斜部105により下方に移動する。栓103は、その初期位置において、容器100、101が互いに連通しないようにする。容器100、101を一杯まで回すと、上側容器101内に入っている成分は、下側容器100に入っている成分と混じり合うことができる。この器具は、上述した種類のディスペンサー端部品43を更に有している。

【0022】図10は器具110を示しており、この器具110が図1～図3と関連して説明した器具と異なっている点は、下側容器3に代えて図6の下側容器41が用いられ、ディスペンサー端部品17に代えて端部品111が設けられていることである。この端部品111は、ロッド71の底端部が、栓6のキャッチ11と結合

するようロッド26の底端部と類似した方法で配置されていることを除き、図7の端部品70と同一である。図11及び図12は特に、1種類の物質を収容していて、最初の使用時に互いに混じり合う2種類の成分を収容しているわけではないという点において、上述の器具と異なる器具120を示している。器具120は、絞り部123によって互いに連結された下側容器121と上側容器122を有している。

【0023】上側容器122は、ベロー125を有し、このベローは、絞り部123の頂部の延長部をなすと共に本発明において特徴的な第2の支承面130を構成する横方向壁126に連結されている。ベロー125はその頂端部が横方向壁128に連結され、この横方向壁の上方延長部としてネック131が設けられ、このネック131は、その頂端部133からその長さの約半分にわたって延びる雄ねじ132を有している。ネック138は、雄ねじ132の下に位置していて、以下に説明する機能を果たす環状ビード134を更に有している。器具120は、調節部品150に取り付けられたディスペンサー端部品140を有し、この調節部品を用いることにより、ベロー125の圧縮ストロークを意のままに変えて使用時毎の物質の小出し量を少なくしたり多くしたりすることができる。

【0024】調節部品150は、ねじ山132と螺合するよう配置された外側スカート151を有し、この外側スカートはその底端部に、弾性変形によって上述のビード134を通過し、実質的に外側スカート151が完全にねじ戻ることがないようにするのに適したビード152を備え、このビード152は、ビード134に当接するようになっている。調節部品150は内側スカート160を更に有し、この内側スカートは、漏れ止め状態でネック131の半径方向内面に当接するように配置された頂部161及び長手方向穴を備えた底部163を有し、この底部163は、ベロー125を圧縮すると横方向壁126に当接するのに適した底端部164を有している。外側スカート151と内側スカート160は横方向壁170を介して互いに連結されており、この横方向壁は、物質を送り出すオリフィス171を有し、入れ物の軸線Xに平行な軸線の回りに環状リップ172によって包囲されている。

【0025】調節部品150は、横方向壁170の上方に位置していて、軸線Xの周りに設けられた周囲壁173を有し、この周囲壁は、出口チャネル142から見て反対側のその側部に開口部180を備え、それによりユーザが、この開口部のそばに端部品140によって構成された支承面175に親指を押し当てることができるようになっている。端部品140は、周囲壁173にヒンジ止めされていて、したがってユーザが、本発明において特徴的な第1の支承面を構成する表面175を押すと、端部品140は傾き、出口チャネル142は、図1

2に示すように周囲壁173の上方の位置を取るようになっていて、調節部品150をネック131に対して多少締め付けることにより、内側スカート163の底端部164と横方向壁126との間の距離dが調節され、かくして、ベロー125の軸方向圧縮ストロークが変わることは理解されよう。ネック131は、ユーザが調節部品150をネック131に対して正確に位置決めすることができるよう外部目盛りを有するのがよい。

【0026】当然のことながら、本発明は、上述の実施形態には限定されない。具体的に説明すると、本発明の器具は、3種類以上の成分を収容することができる。入れ物の圧縮可能な部分を、ベローとしてでなく、それ以外の形状の変形可能な壁で形成してもよい。本発明の器具は、2つの互いに逆方向において入れ物の軸線に加えられた圧力を、入れ物に対して異なる方向に作用する圧力に変換できる圧縮手段を更に有してもよい。ディスペンサー端部品の形状を図面に示す形状とは異なる形状にしてもよい。一例を挙げると、図13は、器具140の軸方向断面図であり、この器具140は、端部品17に代えて端部品141が用いられ、この端部品は、各々が円錐形部分143でそれぞれ構成された2つのディスペンサーチャネル142を有している点において、図1に示す器具と異なっている。

【0027】端部品141は、ロッド26及びタブ27を有している。2つの円錐形部分143相互間で入れ物の軸線X上に位置した端部品の壁146の領域は、第1の支承面145として役立つ。2つの円錐形部分143相互間の間隔は、ユーザが親指で端部品141を押すことができるのに十分な間隔である。2つの円錐形部分143は、端部品を頭皮に接触させ、或いはその近くに配置すると、櫛のように作用することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】2つの成分を即座に混ぜ合わせ可能に別々に包装する本発明の器具を示す概略軸方向断面図である。

【図2】2つの成分を即座に混ぜ合わせ可能に別々に包装する本発明の器具を示す概略軸方向断面図である。

【図3】2つの成分を即座に混ぜ合わせ可能に別々に包装する本発明の器具を示す概略軸方向断面図である。

【図4】器具の使用状態を示す斜視図である。

【図5】器具の使用状態を示す斜視図である。

【図6】変形実施形態を示す概略軸方向断面図である。

【図7】別の変形実施形態を示す概略軸方向断面図である。

【図8】別の変形実施形態を示す概略軸方向断面図である。

【図9】別の変形実施形態を示す概略軸方向断面図である。

【図10】別の変形実施形態を示す概略軸方向断面図である。

【図11】別の変形実施形態を示す概略軸方向断面図である。

ある。

【図12】別の変形実施形態を示す概略軸方向断面図である。

【図13】別の変形実施形態を示す概略軸方向断面図である。

【符号の説明】

1 包装塗布器具  
2 入れ物

3 下側容器

4 上側容器

6 栓

14 圧縮可能な部分

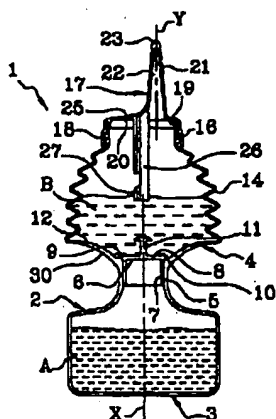
17 端部品

25, 30 支承面

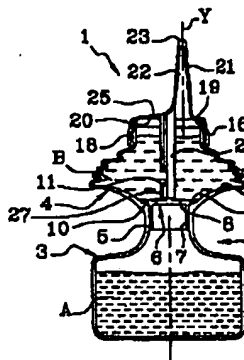
26 ロッド

A, B 成分

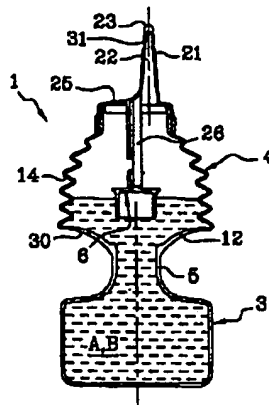
【図1】



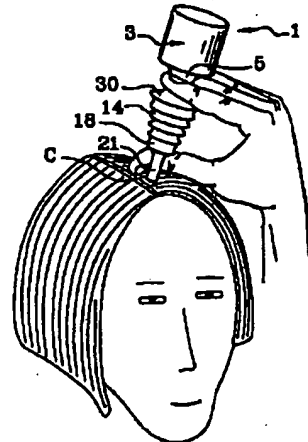
【図2】



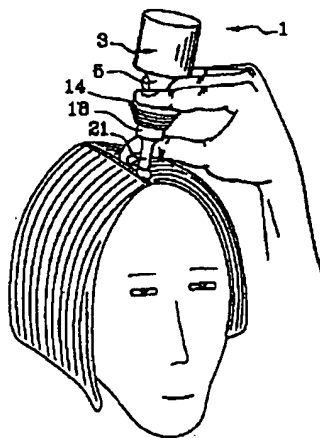
【図3】



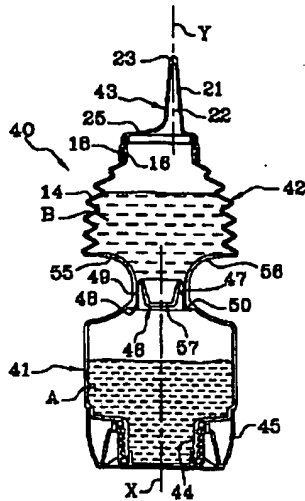
【図4】



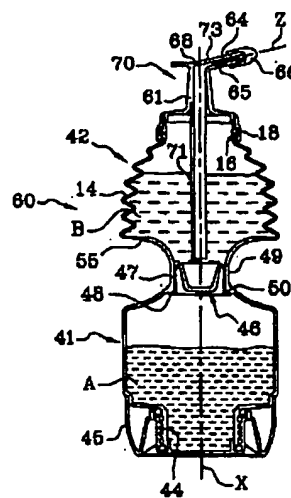
【図5】



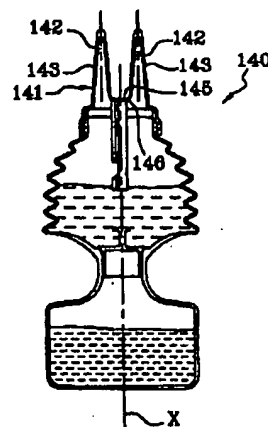
【図6】



【図7】



【図13】







**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**